

あきる野市における自殺の現状について

地域自殺実態プロフィール 2023 (2018 年～2022 年)

□ 地域自殺実態プロフィールについて

- 自治体担当者が、地域の自殺実態を正確に把握するとともに、それを踏まえて事業の立案や計画等への反映等を行えることを目指して開発されたツールで、「いのち支える自殺対策推進センター (JSCP)」から、毎年更新・提供されています。

※ いのち支える自殺対策推進センター (JSCP) とは：厚生労働大臣指定法人・一般社団法人

全国の各地域センターが管内自治体に対し、地域自殺対策計画の策定・進捗管理、検証などについて効果的な支援が行えるよう、様々なサポートをしています。

□ あきる野市に推奨される重点パッケージ

重点パッケージ	高齢者 生活困窮者 勤務・経営
---------	-----------------------

- 「推奨される重点パッケージ」は下記「地域の主な自殺者の特徴」の上位の 3 区分の性・年代等の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に「こども・若者」、「勤務・経営」、「生活困窮者」、「無職者・失業者」「高齢者」の中から選定しています。
- 「推奨される重点パッケージ」は過去 5 年の合計に基づいており、経年的な推移（過去 5 年の増加傾向等）は考慮していません。

■ 1 地域の主な自殺の特徴

- 東京都あきる野市（住居地）の 2018～2022 年の自殺者数は合計 77 人（男性 50 人、女性 27 人）であった（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」（自殺日・住居地）より集計）。

表 1-1 地域の主な自殺者の特徴 (2018～2022 年合計) [公表可能] <個別集計 (自殺日・住居地)>

自殺者の特性上位 5 区分	自殺者数 (5 年計)	割合	自殺死亡率* (人口 10 万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1 位:男性 60 歳以上無職同居	14	18.2%	44.6	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2 位:男性 40～59 歳有職同居	9	11.7%	20.3	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3 位:女性 60 歳以上無職同居	6	7.8%	12.2	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4 位:女性 40～59 歳無職同居	5	6.5%	21.5	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
5 位:男性 20～39 歳有職同居	5	6.5%	20.8	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺

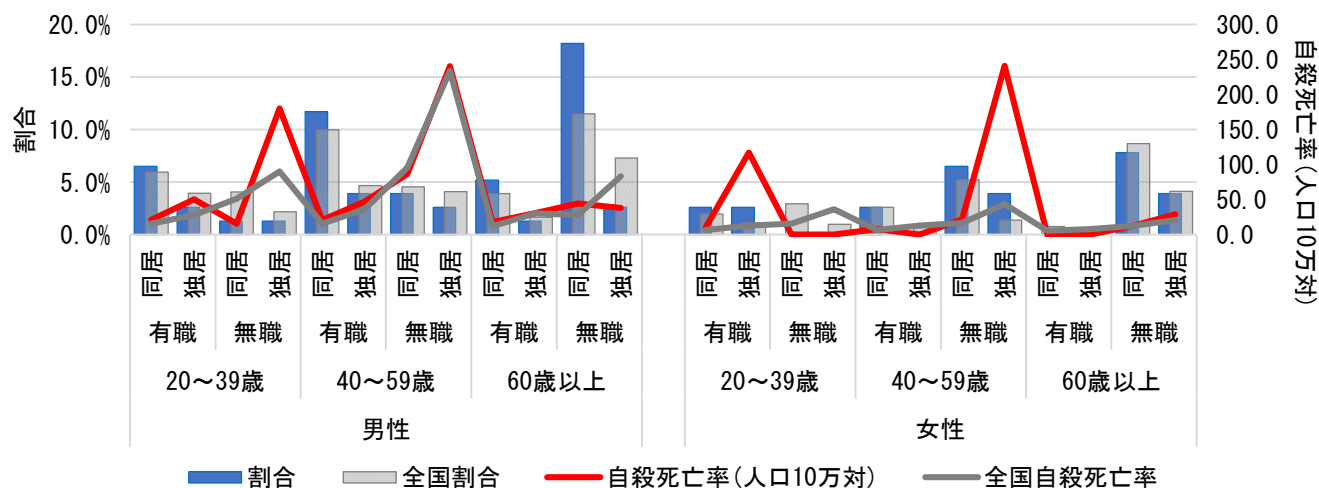
資料：警察庁自殺統計原票データをいのち支える自殺対策推進センター（以下、JSCP）にて個別集計

- 区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

* 自殺死亡率の算出に用いた人口は、総務省「令和 2 年国勢調査」就業状態等基本集計を基に JSCP にて推計したもの。

** 「背景にある主な自殺の危機経路」は、ライフリンク「自殺実態白書 2013」を参考に推定したもの。自殺者の特性別に見て代表的と考えられる経路の一例を示しており、記載の経路が唯一のものではないことに留意。

図 1－2 地域の自殺の概要（2018～2022 年合計）〔公表可能〕＜個別集計（自殺日・住居地）＞



資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

■ 2 地域の自殺の特性の評価

表 2－1 地域の自殺の特性の評価（2018～2022 年合計）

	指標値	ランク
総数*1)	19.1	★
男性*1)	24.9	－
女性*1)	13.4	★★a
20 歳未満*1)	7.2	★★★a
20 歳代*1)	30.0	★★★
30 歳代*1)	7.4	－
40 歳代*1)	21.5	★★a
50 歳代*1)	28.4	★★
60 歳代*1)	22.0	★★
70 歳代*1)	21.4	★★a
80 歳以上*1)	19.0	－
若年者（20～39 歳）*1)	18.2	－a
高齢者（70 歳以上）*1)	20.5	－a
ハイリスク地*3)	103%/+2	－
勤務・経営*2)	19.9	★★a
無職者・失業者*2)	30.4	－a
自殺手段*4)	32.5%	－

ランク	
★★★／☆☆	上位 10%以内
★★／☆	上位 10～20%
★	上位 20～40%
－	その他
＊＊	評価せず

ランクの標章

※ 全国の市区町村における当該指標値に基づく順位を評価した。

*1) 地域における自殺の基礎資料に基づく自殺死亡率（人口 10 万対）。

*2) 個別集計に基づく 20～59 歳における自殺死亡率（人口 10 万対）（公表可能）。

*3) 地域における自殺の基礎資料に基づく発見地÷住居地（％）とその差（人）。

*4) 地域における自殺の基礎資料または個別集計に基づく首つり以外の自殺者の割合（％）。自殺手段関連資料（p. 6）参照。

・ランク欄に「a」と表示されている場合は、自殺者 1 人の増減でランクが変化することを示す。

・指標値欄に「＊」と表示されている場合は、指標を算出していないことを示す。

■ 3 全般的な状況

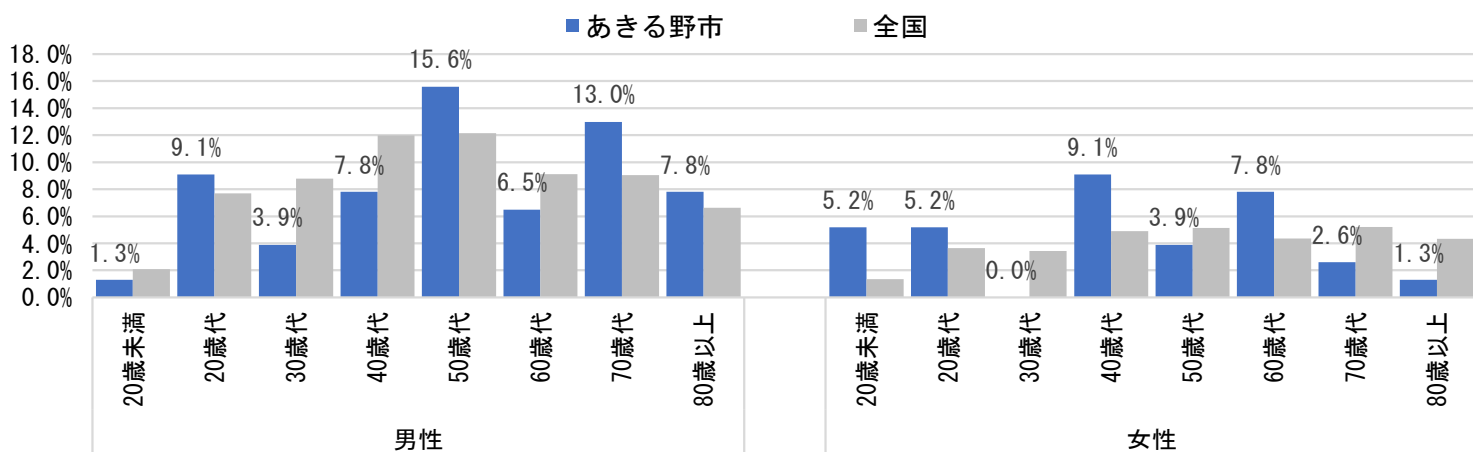
表 3-1 自殺者数および自殺死亡率の推移（2018～2022 年）

	2018	2019	2020	2021	2022	合計	平均
自殺統計(自殺日・住居地) 自殺者数	18	17	17	6	19	77	15.4
自殺統計(自殺日・住居地) 自殺死亡率	22.23	21.03	21.07	7.48	23.72	—	19.11
人口動態統計 自殺者数	18	16	18	7	19	78	15.6

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び厚生労働省「人口動態調査」保管統計表 都道府県編

図 3-2 性・年代別の自殺者割合及び平均自殺死亡率（2018～2022 年） <地域における自殺の基礎資料（自殺日・住居地）>

性・年代別の自殺者割合



性・年代別の平均自殺死亡率（人口10万対）

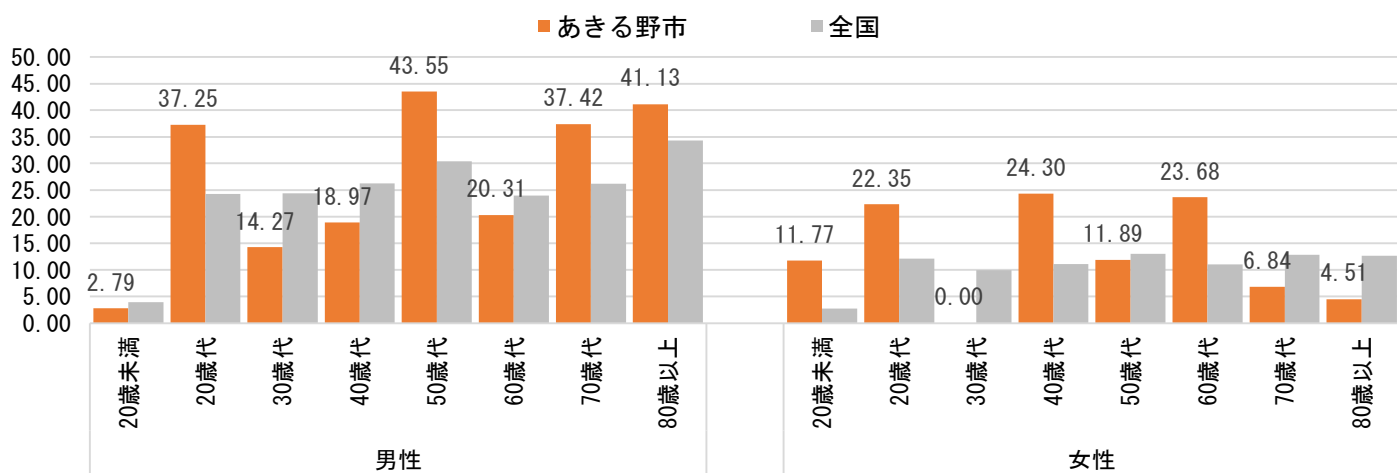
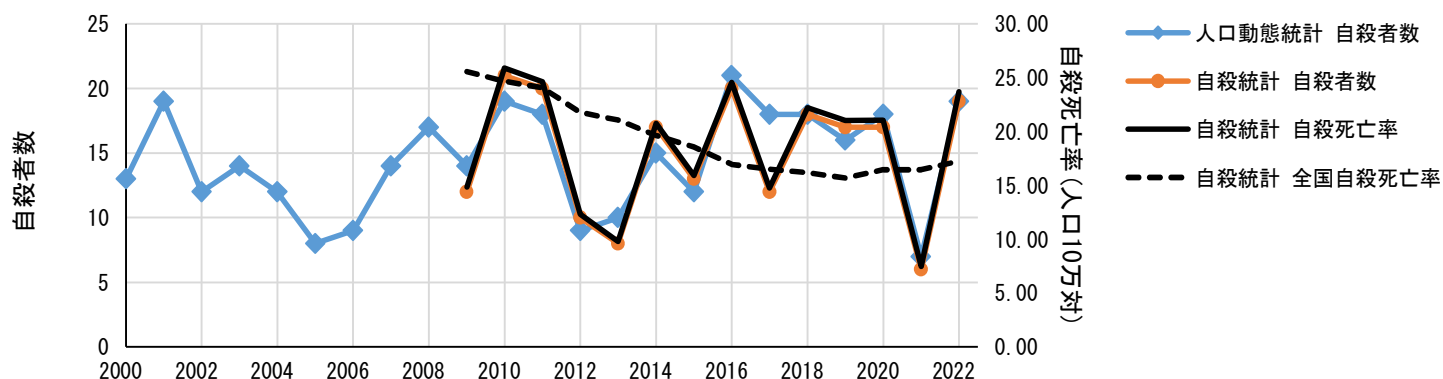


図 3-3 自殺者数及び自殺死亡率の長期的推移



■ 4 子ども・若者関連資料

公表不可

■ 5 勤務・経営関連資料

表 5-1 職業別の自殺の内訳 (2018~2022 年合計) [公表可能] <個別集計 (自殺日・住居地)>

職業	自殺者数	割合	全国割合
有職	30	40.0%	38.7%
無職	45	60.0%	61.3%
合計	75	100%	100%

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

- ・性・年齢・同居の有無の不詳を除く。
- ・令和 4 年 1 月の自殺統計原票の改訂に伴い職業分類が新しくなったため、これまで「有職者の職業分類」を掲載していたところ、「有職」「無職」の分類へ変更した。

■ 6 高齢者関連資料

表 6-1 60 歳以上の自殺者数の内訳 (2018~2022 年合計) [公表可能] <個別集計 (自殺日・住居地)>

同居人の有無		自殺者数		割合		全国割合	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60 歳代	4	1	13.3%	3.3%	13.4%	10.0%
	70 歳代	8	2	26.7%	6.7%	14.9%	8.4%
	80 歳以上	6	0	20.0%	0.0%	11.9%	5.2%
女性	60 歳代	5	1	16.7%	3.3%	8.5%	2.8%
	70 歳代	1	1	3.3%	3.3%	9.1%	4.3%
	80 歳以上	0	1	0.0%	3.3%	7.0%	4.3%
合計		30		100%		100%	

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

- ・60 歳以上の性・年代・職業 (7 区分)・同居人の有無別の集計については付表 2 を参照。
- ・高齢者関連資料に関しては合計が 5 人以下となっているが、対策の必要性に鑑み公表可能となっている。

■ 7 ハイリスク地関連資料 <地域における自殺の基礎資料（自殺日）>

表 7－1 発見地住居地別の自殺者数の推移

	2018	2019	2020	2021	2022	合計	集計 (発見地/住居地)	
発見地	19	7	26	8	19	79	比	103%
住居地	18	17	17	6	19	77	差	+2

■ 8 自殺手段関連資料

公表不可

■ 9 自殺者における自殺未遂歴の有無

表 9－1 自殺未遂歴の有無別自殺者数（2018～2022 年合計） <個別集計（自殺日・住居地）>

未遂歴	自殺者数	割合	全国割合
あり	18	23.4%	19.5%
なし	41	53.2%	62.5%
不詳	18	23.4%	17.9%
合計	77	100%	100%

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計